

## 2022 年度第 2 回研修会 講師水野隆元先生

### 「音のコントロール」

青木鈴子

「フレーズ感を養い歌うように演奏する」(2017 年)、「楽譜のパラメーターを読んで音形を変え、自分だけの個性的な演奏を作ろう」(2018 年)、「平面的で停滞した稚拙な演奏を卒業！ 生き生きとした立体的な演奏を今すぐ始めよう！」(2019 年)に続いて水野隆元先生の 4 回目となる研修会なので早くから楽しみにしていました。

2022 年 7 月 10 日参院選投票日。前々日に奈良で民主主義を壊す蛮行が起き相当減入っていました。またコロナも増え始め心配もありました。でも先生のお話を聞きたいという気持ちの方が心を押してくれました。初めての会場、西宮市民会館には奈良の近鉄学園前からは乗り換えなしで 1 時間 5 分。とても近く感じました。

さて「音のコントロール」って。

水野先生の文章(口琴藝術 2018 年春号の「自分に由る」音楽～甲賀一宏先生追悼)の抜粋ですが「甲賀先生が演奏される度にいろいろな箇所でのどのような音形を使っているのか観察してみました。いたるところが、コントロールされた音の宝庫だったのです。先立たれる寸前に最も進化していたと感じられました。最後の奈良での演奏の録音を聴き、もはや私にはただの一音でさえも真似ることができず、ただただ感嘆させられるのみでした。」と綴られていました。「コントロールされた音の宝庫」「音のコントロール」益々興味を抱きました。

早めに出かけたつもりが 20 分前には会場いっぱい。研修会の盛況さにはいつも驚きです。資料と楽譜が机に配られすでに水野先生はホワイトボードへ向かわれていました。

#### 楽譜から読み取る要素

- ① リズム (拍節、拍子)
  - ② デュナーミク (強弱記号)
  - ③ アーティキュレーション (発音法)
  - ④ アゴーギク(速度法)
  - ⑤ フレージング(楽句法)
  - ⑥ コロリート(響き、質感)
- ②③は四角で囲まれており、大切な内容です。



資料には

#### ■クレッシェンド、デクレッシェンド

どこかに向かって、そこから離れる。近づいて、遠のく。とどまって。抜けていく。

#### ■レガート、スタッカート

アーティキュレーションの要素。

#### ■スラー

くくり、ユニット。進行力の操作。アーティキュレーションの操作。拍節の操作。

## ■アクセント、テヌート

言いたいこと、要点。念押し。力点。

Etc. 超重要！そして必須、、、。

これらが音楽的要素とお話が始まりました。参加者達に学んでもらわねばとワークショップ形式でいきますと。聴く一方じゃなくみんなも参加しての学びです。CとAmを机上に。

### 1レガートとスタッカート

音の立ち上がり、支え、減衰、消失を図で示され①レガートは隙間がない。②ノンレガート(ポルタート)隙間をあける③スタッカート、音符の長さの半分。



ワーク ♪ハーモニカのソルフェージュ(甲賀先生編) スタッカートはアタックなし！

♪しゃぼん玉前奏4小節 スタッカートとフレーズの頂点を見つけ向かう。

♪ゴセックのガボットの出だしのスタッカート アタックをつけず柔らかく。

三列の前席と後席に分けて指導を受けました。みんな真剣に挑戦。

ここで前半は終了。

### 2クレッシェンドとデクレッシェンド

ワーク

♪荒城の月

歌の4小節強弱記号は音量が大きくなるのではなく、遠近や色の濃淡距離感、音質も細く太く速度も変わってくる。頂点高いドに向かって全ての情報をつめて。強調、沸騰点。ただしエネルギーを残しながら6-から4へ。次の4は闇の中で浮かんでくるように。月のイメージをもって演奏する。水野先生の語彙力に酔いました。

♪フォスター名曲メドレー春風の2小節。

音程が下降しているがクレッシェンドに。やはり頂点高いドに向かってエネルギーをためてジャンプする。その後抜いてやる。ここを大きくすると稚拙になると手厳しい。

♪アニー・ローリー

歌の頂点の扱い方による違いもやってみる。演奏をコントロールして思い通りにやってみるのも良いですと。

♪うれしいひなまつり

アクセントは印象づけ。スペシャルな音。その音をキーにして流れを作ったりする。この

部分はシンコペーションなのでなくともそうなる。そして頂点をどこに置くか。高いミミは打楽器のように考えて高いドが頂点。懐疑的に色々やってみると良い。

### 3 スラー

河合隼雄先生のコンステレーション（布置、星座）の話をされました。

星を繋いで星座としてみるように音をグルーピング。

くくりにしてとらえると立体的になる。

ワーク

♪春がきた

歌の歌詞を参考にグルーピングする。はるがきた はるがきた どこにきた  
(フレーズング・スラー)

♪うれしいひなまつり

5小節目より2つの音のスラーは 指示を出す、緩める 表す 引き算で自然に。

(拍の中で)ソルフェージュ2、二度音程 3、三度音程

前の音はしっかりと吹き後の音は抜く

3 4 5 は始め3はしっかり4はレガート5はやわらかく

♪ちょうちょう

立体的にするために5 3 3 -の5 3をくくる4 2 2の

4 2をくくる

1 2 3 4をくくる5 5 5はスタッカート

♪しゃぼん玉の歌

2小節目をスラーでくくる。3小節目はスタッカート  
に。



ワークショップなので自分でも楽しく吹きながら学ぶ

事が出来ました。楽譜が岩崎重昭先生編曲でとても見やすく水野先生の言葉やイメージに寄り添いながら音出しできたことが最高に嬉しかったです。

「音のコントロール」のお話を他の曲を吹くときに生かすことができるように努力したいと思います。

最後に今日お習いしたことなどをちりばめながら「雪」と「ゴセックのガボット」を模範演奏して下さいました。情感豊かに。音のコントロールのお宝いっぱいでした。

水野先生、研修部の皆様にお礼を申し上げます。